



## 工業高校生とまちづくりワークショップ

旭川支部 米本 一恵

9月7日、昨年に引き続き旭川工業高校建築科の生徒とワークショップと交流会をおこないました。生徒18名、先生3名、女性委員会8名の参加。今回も建築士の仕事紹介とまちづくりワークショップの2部構成です。

前半は、生徒に歳の近い委員が、自分の仕事内容や勤務先の事務所の中をスライドを使って紹介したところ、たいへん興味を持って聴いてもらいました。

後半は、工業高校の向かいにある商業施設用地にあつたらいいなと思う建物を考えてもらい、ブロックで形にしてもらいます。学年をバラバラにして、四つのグループに別れ、始めはなかなか話が進みませんでした。自然に3年生が中心になり、まとめることができたと思います。スーパーや本屋、アミューズメント施設、公園や体育館、カフェ等いろいろ案が出ます。何故必要なのか。周囲の環境との関係。話し合ったことを提案シートに書き込み何を作るかを決め、ブロックで形にする作業をします。各グループに委員が入って、アドバイス等をしました。



最後に、各委員の仕事や思いを述べさせてもらい、生徒からの質問に答えて、3時間弱の時間を終えました。

全員がアンケートに答えてくれて、「楽しかった」「違う学年と話し合いをするのはよかった」「ワークショップは達成感があつた」「委員の話は参考になった」「自分も頑張りたい」「来年も参加したい」等、感想をもらいました。

次回もみなさんの期待に添えるような企画を考えたいと思いますし、継続していきたい活動です。



## 全国大会 しまね大会報告

小樽支部 本間 恵美

10月19日（土）連合会女性委員会担当の交流セッション②「高齢者・障害者の住宅改修において建築士としてできること」の運営に東道尾さんと共に参加しました。国交省提出の報告書の概要報告と3名の事例報告者によるパネルディスカッションが行われました。



## 女性建築士の集い報告

札幌支部 鈴木 彩恵

避難所運営ゲーム『HUG』研修会に参加しました。

●真冬の早朝、巨大地震に襲われた札幌。避難所となった学校に被災した人達が続々集まってくる。町内会の役員私達は、その避難所の運営をする事になってしまった…

●この設定で、29名が5班に分かれてゲーム開始です。

避難してくる人達は当然ながら様々な状況で、その一つひとつが難題になっていきます。トイレが使えない…。子供が発熱を…。ご飯が…。水が…。動物が…。参加者はそれぞれ混乱しながらも意見を出し合い、妥協し、決断し、次々降りかかる状況に対応していきます。



へとへとになったお昼休憩には、保存食を提供して頂きました。水を入れると五目御飯が出来るアルファ米とパンの缶詰。7年保存が可能なフリーズドライビスケット。どれもとても美味しくいただきました。午後も頭フル回転でゲームは続きましたが、最後に班で意見をまとめる時に、最近の学校のインフラ状況とか避難所を想定した場合の学校設計などと雑談が多岐にわたり、この避難訓練ゲームは、設計するかもしれないので疑似体験しておこう…という意味もあったのかもしれない、と思いました。意見交換や雑談がとても有意義で楽しい時間でした。

企画開催していただいた女性委員会の皆様ありがとうございました。またよろしくお願いします♡